

講義名	対)オフキャンパスプログラム			
担当教員	小幡 祐可子 / 前川 明 / 中山 一郎			
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	演習	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要

オフキャンパスプログラム は、職業人や企業人への「キャリアインタビュー」をとおして、「なりたい私」を考えていきます。「キャリアインタビュー」を行う企業やインタビューイ（インタビューを受けてくれる人物）は大学でセッティングしますが、その後は自分たちでアポイント（予約や連絡）を取り、自分たちで質問内容を考え、自分たちだけでインタビューを行い、最終的にはその成果をパワーポイントで作成し、授業の最終日に受講生全員の前でプレゼンテーションを行います。

到達目標

【対面授業】この科目は、「対面型」で実施します。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためです。「オンデマンド型」ではありませんので、時間割通りの時間帯に指定された教室で授業に参加してください。なお、新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が困難となった学生には、別途個別に相談しながら対応していきます。ただし、状況によってはラパスが変更する可能性もあります。

「キャリアインタビュー」をとおして、働くという行為に対するイメージや思い込み、抱えている不安や問題に向き合っており、それらを「対面の関係ともいえる働く大人」に直接問うことにより、これまでの自分にはなかった価値観を広げたり、新しい知恵や視点を手に入れたり、自分のなかでは当たり前だと思っていた労働観や職業観をもういちど柔軟に捉えてみることでできるようになります。

提出課題

リアクションペーパー
企業研究シート
プレゼンテーション用に作成したパワーポイント

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回の授業で提出するミニレポートについてはクリッカー（respon）もしくはリアクションペーパーを使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。

評価の基準

キャリアインタビュー実習日までのぞく「事前授業」および「事後授業」の出席や提出物の評価 60点
「キャリアインタビュー実習」と「成果報告会」への出席と評価 40点
ただし、「キャリアインタビュー実習」と「報告会」に出席しなかった学生は、60点に達していても不可とします。

履修にあたっての注意・助言他

オフキャンパスプログラム は、企業および企業で働く人々たちの協働による学修です。そのために、企業や企業で働く人たちの立場に立つて行動することが前提となります。社会常識やビジネスマナーを身につけるように心がけてください。

具体的には、
授業の受講時には定められたルールは厳守すること（遅刻、私語、居眠り、途中退席等は厳禁）
キャリアインタビュー 本日を念めて4日間の授業にはすべて受講すること
プレゼンテーション資料やレポートは、決められた期限までに必ず準備・提出すること
尚、キャリアインタビュー本番での態度が著しく悪い者、事前授業や事後授業の受講姿勢の良い者、欠席が多い者は単位を認めない

教科書	.使用しない。				

プリント資料及び参考文献

プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介します。

授業計画

<1日目 担当：中山一郎>
1. プロローグ-キャリアインタビューって何？-
2. インタビューグループの編成とチームビルディング（メンバーシップの構築）
3. インタビューイたちが所属する組織を知る（会社とは何だろう）
<2日目 担当：前川明>
4. インタビュー企業の発表・決定とインタビュー企業について調べる（企業研究の方法）
5. インタビュー前の基礎（質問内容の確認と検討）
6. インタビュー前の応用（聴く・問う・話すの技法とスキル）
<3日目 担当：小幡祐可子>
7. インタビューに向けての規律訓練（ビジネスマインドとビジネスマナーを修得）
8. インタビューに向けての実践訓練（ロールプレイングで模擬インタビューを体験）
9. インタビューに向けての最終確認（本番当日の流れとプレゼンテーションの準備）
<4日目>
10. キャリアインタビュー実習
11. キャリアインタビュー実習
12. キャリアインタビュー実習
<5日目 担当：中山一郎・前川明・小幡祐可子>
13. キャリアインタビュー報告会（プレゼンテーション）
14. キャリアインタビュー報告会（プレゼンテーション）
15. エピローグ-キャリアインタビューを終えて-

・受講者の人数や状況に応じて講義内容やスケジュールや内容は変更される可能性があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：毎回の講義のテーマに沿った内容を事前に調べておくこと（2時間）
復習：各自で取り上げたテーマについて、自分の身の回りの事例をふまえてまとめておく（2時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は職業人や企業人への「キャリアインタビュー」をとおして、「なりたい私」を考えていくことを目的とした授業であるが、キャリア科目のCPでは「働く目的と仕事観の醸成、自身の適性と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行う」と述べられており、まさにCPを反映させた科目であるといえる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回のリアクションペーパーの回答は原則クリッカー（respon）で行います。また、コロナ禍の状況によっては実際に企業を訪問して対面でのインタビューが実施できない可能性があります。その場合、オンラインでインタビューというケースも出てきますのでresponはもとより、同時双方向型のICTツールであるMicrosoft StreamとZoomは必ず使用機器にインストールし設定しておいてください。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
この科目を担当する3名の教員はキャリア教育の専門家として、本学学生だけでなく、他大学も含めた多くの大学生の就職支援、キャリア教育に従事し、その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、このように社会で役に立つのかを事例を交えて解説を行う。

備考

キャリアインタビュー先である企業への移動交通費はすべて自己負担となります。